

■橋梁補修（措置）の新技術

※R3.4.1時点

○本掲載情報は橋梁の「点検・措置（新工法・新材料）」における新技術について、「点検支援技術性能カタログ」及び「NETISの有用技術（名称付与技術）」をまとめたものである。

措置に関する技術・・・76技術

○表中の注意事項※1～※4

※1「性能カタログ」の位置付けはホームページ記載の「～補足～」のとおり。

※2「NETIS（有用な新技術）」の位置付けはホームページ記載の「～補足～」のとおり。

※3「従来技術」とはNETIS申請者が「国土交通省土木工事標準積算基準」「港湾土木請負工事積算基準」等に記載されている工法から選択しているものであり、表中の他技術との比較ではないことに注意。  
（比較対象技術の詳細はNETISを参照のこと。）

※4「活用効果調査件数」とはNETISにおいて活用効果調査票が提出された件数であり、当該技術の総実績件数ではないことに注意。

○当該掲載情報は新技術選定の効率化、選定候補漏れ防止の一助となる様、橋梁保全に関する性能カタログ及びNETISの有用な技術を取りまとめたものであり、その他の技術利用を妨げるものではない。

最終的な新技術の選定にあたっては各々の橋梁や現場特性を考慮の上、各道路管理者が適正に判断すること。

No.	分類項目	小分類項目	技術名称	新技術開発システム（NETIS）										性能カタログ※1					
				掲載 ※NETISサイトに移動します	NETIS（有用な新技術）※2				従来技術との比較※3 （※技術開発者の申請情報） ○：従来技術より向上 －：従来技術と同程度 △：従来技術より低下・増加				NETISの 活用効果調査件数※4		NETIS登録番号	掲載 ※性能カタログページに移動します	技術の 性能確認 シート	性能カタログ番号	
					推奨技術	準推奨技術	評価促進技術	活用促進技術	経済性	工程	品質	施工性	中国地整	他地整					
1	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	<b>けい酸塩系表面含浸材CS-21ネオ</b> 新設コンクリート構造物の表面保護に最適で、施工性が良好な反応型けい酸塩系表面含浸材。施工は清掃後の表面に材料を1回塗布のみで散水は不要。継続的な微細空隙の充填効果により、かぶりを健全に保ち鋼材腐食を抑制。更なる品質向上、耐久性向上、長寿命化に寄与す	■					○	○	○	○	○	8件	CG-160013-VE				
2	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	<b>コンクリート剥落防止対策ネット工法</b> 本技術は、コンクリート片のはく落防止対策ネット工法で、従来のはつり・断面修復工法に比べ、本技術の活用により短期間で経済的に剥落防止が可能となり、施工後にはひび割れ等の目視観察ができる他、容易に部分補修が図れます。	■					○	○	○	-	○	3件	10件	SK-140006-VR			
3	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	<b>超薄膜スケルトンはく落防災コーティング</b> 透明特殊コーティング材とガラス連続繊維シートの含浸接着による、透けて見えるコンクリート構造物のはく落防止機能付き表面保護工法(繊維シートを使用しない場合は小片はく落防止機能)。塗膜の超薄膜化によってコーティング材の使用量を抑え経済性の向上を果たした。	■					○	○	○	○	○	5件	23件	CG-120025-VR			
4	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	<b>ワンステップガード工法</b> 本技術は、特殊有機短繊維を混合したアクリル樹脂を塗布する方式のコンクリート片はく落防止対策工法で、従来は繊維シート接着工法で対応していた。本技術の活用により、シート接着工程が削減ができるので、工程の短縮、経済性の向上が図れる。	■					○	○	○	-	-	10件	KT-120082-VR				
5	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	<b>かため太郎</b> 本技術は、エポキシ樹脂スプレーによるコンクリート構造物の応急的補修材料で、従来は、ポリマーセメントはけ塗りで対応していた。本技術の活用により、従来技術の練混ぜやはけ塗りが不要なので、労務費減少と施工費がなくなることで、経済性の向上が期待できる。	■					○	○	○	○	○	1件	5件	KT-120036-VE			

6	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>ハイブリッド形表面被覆材アロンブルコートZ-X、Z-Y工法</b> 従来主流のコンクリート表面保護工は、エポキシ樹脂系材料であるが紫外線劣化により割れ剥がれが多く発生している。本工法は、コスト縮減・工程短縮・品質向上・施工性等に着目し開発した材料(セメント系無機質硬化材を主とし、アクリルゴムを混合)を用いる新工法である。	■					○	○	○	○	○	13件	CB-120013-VR				
7	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>スーパーホゼン式工法</b> 本技術は、耐荷力性能不足が懸念される道路橋床版等に対して車両規制を行わず下面から補強網鉄筋を圧着固定し床版の振動・衝撃を緩和しながらポリマーセメントモルタルでの増厚及びエポキシ樹脂の注入を施し、既設床版と完全一体化させ耐荷力を向上し長寿命化する技術であ	■					○	○	○	-	○	5件	6件	CG-110038-VR			
8	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>ボンドKEEPメンテ工法VM-3</b> 本技術は、変性ポリウレタ樹脂による柔軟性に富み、広い施工可能温度領域を有するコンクリート片はく落対策工法である。従来は、当該箇所をハツリ撤去後、モルタル等で断面復旧していた。本技術では下地のひび割れや変形に追従性を確保し、通年での施工が可能となった。	■					○	○	○	○	○	1件	15件	SK-110012-VR			
9	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>クリアクロス工法</b> 本技術は、含浸による透明な特殊ピロロクロスを用いたコンクリート剥落防止工法で、従来ははつり工+モルタル復旧工で対応していた。本技術の活用により、はつり作業が不要となり産業廃棄物が低減し騒音発生がなく経済性の向上、周辺環境への影響抑制となる。	■					○	○	○	-	○	17件	KT-110052-VE				
10	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>KSボンド</b> 本技術は、既設構造物とフレッシュコンクリート間に用いる土木用高耐久型エポキシ系接着剤で、従来はモルタル・コンクリート塗り継ぎ用エポキシ樹脂系接着剤で対応していた。本技術の活用により接着効果が確実に高くなるため、品質、安全性、経済性の向上が期待できる。	■					○	○	-	○	-	7件	KT-160058-VE				
11	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>コンクリート構造物の断面修復材料「ゴムラテシリーズ」</b> 超速硬ポリマーセメントモルタルまたはコンクリートにより、劣化損傷したコンクリート構造物の断面修復を行う技術で、従来は、超速硬コンクリートで対応していた。本技術の活用により、乾燥収縮が小さく、付着性・耐久性に優れた断面修復が可能である。	■					○	○	○	○	○	6件	18件	QS-150017-VR			
12	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>NCショット</b> 本技術は、コンクリート構造物の補修補強工事に用いる断面修復材である。従来その細骨材として使用していた天然砂の代わりに、高炉水砕スラグを独自の球形化技術にて加工し、プレミックスモルタル化した。本技術の活用により耐久性、耐酸性などの品質向上が期待でき	■					○	-	-	○	○	9件	QS-150001-VE				
13	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>無機質けい酸塩系含浸材「ポルトガードプレクサス」</b> 本技術はコンクリート表面保護に用いる散水養生不要のけい酸塩系含浸材であり、従来は散水養生を必要とするけい酸塩系含浸材で対応していた。本技術の活用によりカリウムの反応促進作用により散水養生が不要となるため、施工性の向上と経済性の向上が得られる。	■					○	○	○	-	○	10件	KT-130065-VE				
14	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>浸透性吸水防止材「レジソークType1」</b> 本技術はコンクリート表層部の組織を改質することで撥水効果が得られる。同時に表面からの水分、塩分等の浸入を防ぐことで、コンクリート構造物の塩害、凍害、中性化などによる劣化進行を抑制する。また、簡便な施工であり維持管理コストの低減が期待できる。	■					○	○	○	○	○	9件	CG-120004-VR				
15	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>eプレート工法</b> 本技術は、CFRPプレート(以下「eプレート」)による鋼、コンクリート構造物の曲げ補強工法で、従来は鋼板接着工法で対応していた。本技術の活用により、鋼材腐食の心配が無く、死荷重の増加がほとんど無くなるため、構造物の品質及び耐久性が向上する。	■					○	○	○	○	○	1件	18件	KT-110058-VR			

16	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>CS-21ひび割れ補修セット</b> ひび割れの補修を、無機系の①CS-21クリアー、②CSパテのセットにおいて、ひび割れに塗布+擦込む簡便な工法によりひび割れ自閉効果と空隙の充填を可能とした。ひび割れからの劣化因子の侵入を防ぎコンクリートの耐久性向上と美観等に寄与する技術。	■					○	○	○	-	○	1件	6件	CG-110003-VE			
17	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>脂肪族系鉄筋防錆剤「サビラーズ」「ハイサビラーズ」</b> 本技術は、強靱かつ鉄筋の伸縮に追随する塗膜により、鉄筋に有効な防錆力を発揮させます。従来は、露出鉄筋にポリ塩化ビニル系チューブを被せ、工事再開時に剥がすことで対応していた。本技術の活用により、塗布作業だけの工程で防錆処理作業の短縮が図れる。	■					○	○	○	-	○	8件	296件	KT-150006-VE			
18	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>リポテックスシリーズ</b> 本技術は皮膚成分を散布する湿潤養生剤で、従来はコンクリート養生マットで対応していた。本技術の活用により、散水やマット敷設等の作業が不要となり労務費の低減が図れるため、経済性が向上する。	■					○	○	○	-	○		28件	KT-120081-VE			
19	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>アルウォーク</b> 本技術は、コンクリート型枠設置・撤去用あるいは垂直・傾斜面用のアルミ製仮設足場ブラケットで、従来は、鋼製足場ブラケットで対応していた。本技術の活用により、軽量化や設置方法の多様性により、安全性および施工性の向上が期待できる。	■					○ R3	-	-	-	○		1件	KKK-170004-VE			
20	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>アースコート防錆-塗装システム</b> 新技術は表面処理と防錆塗装を組み合わせた塗装システムである。従来は一般重防錆防食塗装により施工していたが、本技術の活用により防食性と密着性が向上し塗り替え期間の延長が可能になった。	■					○	○	○	○	○	9件	8件	KK-110056-VR			
21	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>プラスト面(素地調整1種)を形成できるハンディ動力工具『プリストルブラスター』</b> 鋼構造物の塗装前の素地調整において、プラスト処理のような大型の機材や装置および研削材を使用せずに、プラスト処理と同等の素地調整1種が得られるハンディな動力工具	■					○	○	△	-	△	6件	109件	CG-110021-VE			
22	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>ECO-SCOPI工法</b> 分析用途の塗膜採取の従来技術は、素地調整2種が用いられているが、本技術の採取用具を用いることで、塗膜の採取コスト、作業工程と日数を各段に低減し、塗膜に含む有害物質から作業員の安全と周辺環境の汚染および二次汚染廃棄物の発生が防止できる。	■					○	○	○	○	○		6件	HK-160021-VE			
23	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>循環式ハイブリッドプラストシステム</b> 橋梁補修補強工等において、鋼構造物の素地調整(1種ケレン)やコンクリート劣化部のチッピングを行う循環式機能付プラスト工法で、従来は、エアープラストで対応していた。本技術の活用により、ケレンかすから研削材を吸引再利用できるため、産業廃棄物を削減できる。	■					○	○	○	-	○		8件	QS-150032-VE			
24	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>EPP(エコ・ペイント・ピーリング)工法</b> 本技術は、水性剥離剤を、橋梁などの塗膜に塗布することで、塗膜を浮き上がらせ除去する工法です。従来はプラスト工法を用いていました。本技術の活用により、塗膜除去時の粉塵と騒音の発生を防止できます。塗膜に有害物質を含む場合は特に有効です。	■					○	○	○	△	-	3件	20件	KT-150081-VR			
25	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>金属溶射の塗装工程省力化工法(SIC工法)</b> 本工法は金属溶射の塗装仕様であり、重防食塗装の技術である。封孔処理と塗装にSICシーラー(無溶剤1液型無機系封孔剤)を使用する。従来は有機溶剤系塗料で対応していた。本工法の活用により、工程の削減、耐久性の向上、環境負荷の低減が期待できる。	■					○	○	○	○	○		6件	TH-140010-VR			

26	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	<b>パワーダンパー</b>	■				○	○	○	-	○	6件	TH-120010-VE				
			本技術は地震力を低減させるシリンダ型粘性ダンパーです。本技術の活用により、橋脚基礎の補強を省略するとともに、橋脚の補強量を低減させることが可能となり、経済性が向上し、工程を短縮することができます。															
27	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	<b>コンパクトストッパー (KCS)</b>	■				○	○	○	○	○	8件	KT-120008-VE				
			本技術は水平2方向及び上向き(上揚力)の地震力に抵抗する緩衝ゴム付き変位制限装置であり、従来は鋼製ブラケットによる変位制限装置により対応していた。本技術の活用により、上向き地震力に抵抗可能な構造としたことにより、地震時における品質の向上となる。															
28	措置 (新工法・ 新材料)	鋼構造物 補修・補強	<b>鋼構造物溶接止端部の疲労強度向上工法</b>	■				○	△	○	○	○	2件	31件	CB-120011-VE			
			本技術は、鋼構造物の溶接継手部を強化する技術であり、従来は溶接継手部の止端部をグラインダー仕上げで対応していた。本技術の活用により、溶接継手部が強化され鋼構造物の耐久性を向上させると共に、工期の短縮、作業者の作業負荷軽減が期待できる技術である。															
29	措置 (新工法・ 新材料)	排水装置	<b>橋梁用埋設型排水柵</b>	■			○ R 1		○	○	-	○	7件	HK-140002-VE				
			本製品はコンクリート床版上の雨水を排水するための床版排水用の雨水柵です。伸縮装置取り換え工事と同時に設置を行い、遊間を利用して排水する技術です。コアドリルによる削孔作業が不要なため施工が早いのが最大の特徴です。															
30	措置 (新工法・ 新材料)	仮設	<b>仮締切LPF工法</b>	■			○ H 3 0		○	○	-	○	5件	CB-110010-VE				
			本技術は、既設橋脚における仮締切の設置工法であり、従来は潜水工による水中施工であったが、工程が長くコストが高み安全等の問題があった。しかし、本技術では水上で組立て水中に送り出す事が可能なため水中施工を軽減でき、工程・コストの低減・安全性確保が出来た。															
31	措置 (新工法・ 新材料)	仮設	<b>プレストレスデッキ 1.0m×4.0m</b>	■				○	○	○	○	○	1件	7件	KK-120033-VR			
			本技術は、鋼板プレストレス強化工法によって、従来2.0mであった覆工板と同程度の厚さと単位重量で4.0mへ長スパン化した製品である。覆工板の長スパン化により、施工性の向上と、工期短縮、コスト縮減が期待できる。															

【NETIS掲載期間終了技術】 ※掲載期間が終了しており、NETISでは閲覧できません。

32	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>フォルカストランドシート工法</b> 本工法は、炭素繊維などをエポキシ樹脂で棒状に硬化し、一方向に配列させずだれ状に加工した強化繊維シート「ストランドシート」を、エポキシ樹脂等の常温硬化型接着剤を用いて貼り付けるだけで、従来より安価で短期間にコンクリート構造物の補修・補強が可能である。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	4件	17件	QS-080011-VG			
33	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>高粘性浸透性吸水防止材</b> 本技術はコンクリート構造物等に高粘性浸透性吸水防止材(シラン系表面含浸材)を使用する表面保護工法であり、従来は表面被覆工法で対応していた。本技術の活用によりコスト縮減、塩害に対する耐久性の向上が期待できる。また鉄筋の腐食抑制効果も確認された。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○		5件	KT-060094-VG			
34	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>CABOCON工法(カボコン工法)</b> CABOCON工法とは、炭素繊維集成板(以下、CCFPと示す;Consolidated Carbon Fiber Plate)を接着剤(Bond)にて、構造物に接合(Connect)することで、補修・補強を行う工法である。【掲載期間終了】	■					○	△	○	○	○		6件	KK-050085-VG			
35	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>ショーボンドハイブリッドシート工法</b> 本技術は、予め工場で作られた特殊ラミネートシートを現場で一層貼り付ける工法で、従来工法の現場積層型の工法に比べて施工工程の削減と品質の向上等を実現しました。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	7件	88件	TH-010017-VG			
36	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>床版上面増厚工法</b> 本技術は既設コンクリート床版上面の上に新しいコンクリートを打継ぎ、新旧コンクリートを付着一体化させる工法で、従来は床版打換工法で対応していた。本技術の活用により工程の短縮・既設床版コンクリートの撤去処分費用の削減などによるコスト縮減効果が期待できる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	2件	6件	KT-010135-VG			
37	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>トレカクロスG工法</b> 本技術はコンクリート構造物に炭素繊維シートを接着する工法であり、従来は鋼板接着工法を使用していた。本技術の活用により樹脂含浸の施工管理が容易となり、適正樹脂量の確認及び作業時間の適正化が図られ、コスト縮減・工期短縮・施工品質の向上が図られます。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○		6件	KT-090053-VG			
38	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>コンクリートひび割れ低減用ネット「ハイパーネット60」</b> 本技術はコンクリート構造物に発生するひび割れを抑制する技術であり、従来にない技術である。本技術の活用により、耐久性に大きく影響する幅の広いひび割れの発生を抑制することにより、コンクリート構造物の品質の向上が期待される。【掲載期間終了】	■					○	△	△	○	△	83件	769件	SK-080003-VG			
39	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>省力施工型コンクリート改質・劣化防止剤「リアル・メンテ」</b> 本技術は省力施工型コンクリート改質・劣化防止剤「リアル・メンテ」で、従来はケイ酸塩系表面含浸材により対応していた。本技術の活用により散水養生不要による適正なケイ酸塩濃度が含浸し維持される事で中性化抑止効果を発揮し、品質が向上する。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	2件	24件	KT-080018-VG			
40	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>紙チューブ式無機系接着アンカー工法</b> 本技術は、コンクリート母材にカプセルを挿入し、特殊アンカーボルト(L型・コ型・完全埋込筋)を打撃のみで固着する無機系アンカー工法である。従来は注入・エア抜きパイプをシールして硬化後、樹脂注入を行っていた。本技術により工期短縮とコスト縮減が期待出来る。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	2件	17件	KT-070103-VG			
41	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>無溶剤タイプジェル状シラン系表面含浸材</b> 本技術はシラン系表面含浸材によるコンクリート保護に関するもので、従来は表面被覆材で対応していた。本技術の活用によりコンクリート構造物を簡便に、低コストで、長期間水や塩分などの劣化因子から保護し、コンクリート構造物の耐久性向上と景観維持が期待できる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	18件	198件	KT-070047-VG			

42	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>FORCA(フォルカ)トウメッシュ工法</b> 耐久性に優れた FRP メッシュ をコンクリートアンカーで固定するだけの簡単な剥落防止工法 である。接着剤やモルタルを使用しないので下地処理や導水・止水処理が不要で、結露、漏水 のあるトンネルでも施工可能である。また、従来工法に比べ早く施工できる。 【掲載期間終了】	■	○ H 2 6					○	○	-	○	27件	49件	KK-060042-VG			
43	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>鉄筋腐食抑制工法 「プロテクトシル CIT」</b> プロテクトシルCITは、含浸系表面保護材で、コンクリート表面に塗布する事によりコンク リート中の鉄筋の腐食電流を低減し鉄筋の腐食抑制する。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	22件	118件	HR-060004-VG			
44	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>アルファー・ゾル-G注入工法</b> この工法は、水の接するコンクリートの打設部・ひび割れ・コールドジョイント・セパレー ター等、施工後に発生した漏水補修に適用する。 【掲載期間終了】	■					○	△	○	○	○	3件	37件	SK-050009-VG			
45	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>Stコン (エステーコン)</b> 本技術は コンクリート構造物のPコーン跡に穴埋めをする 新しい材料と方法で、従来は モル タルを押し込み円いコテで仕上げていた。本技術の活用により 誰でも 簡単に 速く 確実に し かも 均一に 綺麗に 施工する事が出来る。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	30件	270件	KT-050007-VG			
46	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>高分子系浸透性防水材 アイゾールEX</b> 撥水効果・コンクリートの表面改質効果を併せ持つ表面被覆材(透湿性を有する水性一液型塗 料)が、コンクリートの劣化を抑制する。 【掲載期間終了】	■						○	○	○	○	22件	43件	CB-030003-VG			
47	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>コンクリート構造物の断面修復乾式吹付け工法</b> ポリマーセメントモルタル乾式吹付け工法はコンクリート構造物の断面修復や補強を独自のサイ ロシステムを用いて、短期間に施工する優れた工法である。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	3件	11件	CB-020040-VG			
48	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>二方向アラミドシート補修・補強工法</b> 二方向アラミドシート工法は、わが国で250件程度の施工実績があり、構造物の耐力の向上を 図るとともに疲労による劣化を抑制し、構造物の寿命を延命させることができます。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	2件	21件	CB-000024-VG			
49	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>FRPグリッド増厚・巻立て工法</b> 本技術は、補強材であるFRPグリッドを、ポリマーセメントモルタルを使用して既設コンク リート構造物と一体化し補修・補強する技術で、従来は、薄鋼板をアンカーボルトにより取付 け、エポキシ樹脂注入で既設コンクリート構造物と一体化し補修・補強する技術であった。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	2件	24件	CG-000009-VG			
50	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>フォルカトウシート工法</b> フォルカトウシート工法は、カーボン、アラミドなどの高性能連続強化繊維を一方向に配列さ せた「トウシート」を、エポキシ樹脂等の常温硬化型接着剤を用いてコンクリート構造物の表 面に貼り付けるだけの、施工性に優れた工法である。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	12件	72件	QS-990014-VG			
51	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>Qマット</b> 本技術はコンクリート構造物の湿潤・保温養生材で、従来は散水養生、スポンジタイプ等の養 生マットによる湿潤養生とヒーターによる給熱養生で対応していた。本技術の活用により保湿 性と保温性の向上が期待できる。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	277件	684件	KT-980368-VG			
52	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>エポガードシステム</b> 長期に安全な鉄鋼面の防食システムを目的としました。腐食した鉄鋼部分をケレン後腐食した 赤錆(ヘマタイト→Fe(OH)2,Fe(OH)3,FeO(OH))を安定な黒錆(マグネタイト→Fe3,04)に転換 し、その上に用途に応じた塗料を塗装することにより長期にわたり防食し延命させる技術で す。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	12件	100件	CB-080011-VG			
53	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>タフガードQ-R工法</b> 中塗りの強靱な塗膜特性及び塗装システムの速硬性により、従来の補強材工程の省略を可能に し、大幅な工期短縮とそれに伴う工事コスト低減を実現しました。また、無溶剤系の中塗り設 計によりコテ塗りを可能とし施工性と環境へ配慮しました。 【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	2件	78件	KK-040054-VG			
54	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>常温金属溶射システム (MS工法)</b> 本技術は、鋼構造物に対して防錆・防食をする技術であり、従来は塗装、熔融亜鉛メッキ、溶 射(フレーム溶射)などにより対応していた。本技術の活用により、耐久性の向上によるコスト 縮減や設備の軽量化により作業環境に左右されない施工性が期待できる 【掲載期間終了】	■					○	○	-	○	○	6件	67件	TH-030026-VG			

55	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>Cold Galvanizing ローバル工法</b> 従来防食技術である溶融亜鉛めっきに見られるような鋼材の寸法・形状、施工場所の制限を受けることなく、工場及び現場施工に於ける常温での塗装により、溶融亜鉛めっきと同等の防食性能を有する塗膜を形成する技術。【掲載期間終了】	■					○	○	-	○	○	10件	32件	KK-090014-VG				
56	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>インパiroワン工法</b> 本技術は、鉛・クロム等の有害物質を含む塗膜を除去して現場で重防食塗装が可能な素地を得る工法であり、従来はプラスト工法で対応していた。本技術の活用により、塗膜ダストが発生しないため、飛散防止対策の簡略化、既存塗膜の確実・容易な除去・回収が期待できる。【掲載期間終了】	■						○	○	-	○	3件	40件	KT-060135-VG				
57	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>バキュームプラスト工法</b> 飛散防止型サンドプラスト工法は、コンクリート表面をバキュームしながら下地処理を施工する為、研削材や粉塵等の飛散が無く又回収した研削材は、再利用するので発生材の処分量も少なくすみ、人力で目視しながら作業を行うので、必要以上に躯体を傷めません。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	9件	165件	CB-050049-VG				
58	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	<b>BM-Sダンパー</b> BM-Sダンパーを橋に取り付けることにより、特定の下部構造に上部構造慣性力を直接誘導(バイパス効果)すると共に、ダンパーの履歴減衰により慣性力が低減され、橋全体としての耐震性を低コストで実現することができます。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	-		53件	QS-060010-VG				
59	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	<b>変位制限機能付落橋防止ケーブル</b> 耐震補強システムである変位制限装置と落橋防止装置の両機能を一つにした、ケーブルタイプの新落橋防止システムです。橋梁の全ての構造(鋼橋、PC橋、RC橋等)に適用でき、また既設橋の補修・補強工事だけでなく、新設橋にも使用可能です。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	3件	3件	CB-040009-VG				
60	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	<b>Kui Taishin-SSP工法</b> 本技術は、パイルベント基礎に対して鋼板を圧入にて巻き立てし補強する工法で、従来は増し杭フーチング方式等で対応していた。本技術の活用により短期間、低コストで耐震性能の向上が期待できる。【掲載期間終了】	■									○	○	2件	4件	KT-000101-VG			
61	措置 (新工法・ 新材料)	鋼構造物 補修・補強	<b>超音波ピーニング処理(UIT)工法</b> 溶接継手の溶接止端部に超音波ピーニング処理(UIT)を施し、溶接構造物の疲労強度を向上させる工法。 ・先端に曲率を持ったピンを超音波加振させ対象箇所を打撃する。 ・従来技術に比べて、高速でかつ簡便に処理が可能で高い品質安定性が得られる。【掲載期間終了】	■									○	○	3件	28件	KTK-070004-VG			
62	措置 (新工法・ 新材料)	鋼構造物 補修・補強	<b>紫外線硬化型ガラス繊維強化プラスチックシートによる照明柱根元防食及び道路構造物腐食部補修</b> 従来の補修・予防保全方法とは全く異なる画期的な新技術です。ウルトラパッチとはゴムのように柔らかく、紫外線(太陽光)に触れることにより強力に接着しながら硬化する紫外線硬化型FRPシートのことです。腐食補修、予防保全に最適です。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	17件	200件	CB-990022-VG				
63	措置 (新工法・ 新材料)	排水装置	<b>高気密ステンレス排水管</b> ステンレス特殊スパイラル管を用いた軽量で耐圧性に優れた橋梁用排水管【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○		66件	CB-980013-VG				
64	措置 (新工法・ 新材料)	伸縮装置	<b>フィンガージョイント用大型乾式止水材</b> CRゴムと連続発泡体を用いて一体成型した乾式止水材である。本技術の活用により、大遊間フィンガージョイントに対応ができるようになる【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	1件	70件	KK-050116-VG				
65	措置 (新工法・ 新材料)	伸縮装置	<b>プレスアドラー</b> 本技術は、橋梁の伸縮装置内における止水を目的とした乾式止水材で、伸縮装置内に圧縮挿入固定し、伸縮装置下に水を落とさない技術である。従来は弾性シール材で対応していた。本技術の活用により、橋面下施工・工期短縮・コスト削減等といった利点が見込める。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	8件	47件	KK-020026-VG				
66	措置 (新工法・ 新材料)	仮設	<b>NDR工法</b> 本技術は、鋼製締切り函体を用いた仮締切り工法であり、従来は水中作業や鋼管矢板などを用いた仮締切工法等で対応していた。本技術の活用により工程短縮、コスト縮減が図られる。【掲載期間終了】	■									○	○	1件	14件	KT-000080-VG			

67	措置 (新工法・ 新材料)	仮設	<b>仮橋仮棧橋斜張式架設工法</b> 本技術は上部工架設先行型による仮橋・仮棧橋工法で、従来は下部工先行型による仮橋・仮棧橋工法で対応していた。本技術の活用により、安全性、工期短縮、環境保全、経済性が期待できる。【掲載期間終了】	■	○ H 2 8					○	○	○	○	7件	36件	KT-990222-VG			
68	措置 (新工法・ 新材料)	その他	<b>鉄筋損傷防止型防護柵</b> 橋梁の既設地覆を再利用して防護柵の取替えを行う際に、アンカー用削孔等で地覆鉄筋を損傷させる事無く設置可能な防護柵です。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○		29件	QS-080003-VG			
69	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>ニュースパンガード</b> 本技術は、半透明のシラン系表面含浸材をローラーバケ、又は刷毛で1回塗布するだけで、コンクリート表面に緻密なシリコンポリマー保護層を形成します。この保護層は、透水・吸水を防ぎ、鉄筋を保護し、コンクリートの劣化を抑制します。【掲載期間終了】	■					○	○	-	○	○	7件	41件	QS-100008-VR			
70	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	<b>N-SSI工法</b> 本工法は、飛来塩分や凍結防止材による塩害で劣化したコンクリート構造物に対する高防錆型断面修復工法である。材料は、「塩分吸着剤」を添加したポリマーセメント系で構成され、補修部位の劣化状況や塩化物イオン量に応じて材料を加減することにより、コストを縮減できる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	24件	71件	KK-100009-VE			
71	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>循環式エコ クリーンプラスト工法</b> 本技術は、構造物全ての素地調整工における安全性・環境性・経済性に優れた技術であり、従来は動力工具やエアープラスト工法で対応していた。研削材に金属系研削材を採用し、投射した研削材を再利用することで、産業廃棄物削減を図り、施工時間を短縮している。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	-		29件	CB-100047-VE			
72	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>バイオハクリX</b> 本技術は、橋梁等の鋼構造物の塗膜を除去するアルコール系塗膜はく離剤で、従来は、塩素系(ジクロロメタン)の塗膜はく離剤で対応していた。本技術の活用により、軟化膨潤状態を長く保て、複層塗膜を湿潤シート状にはく離が可能となるため、施工性の向上が図れる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	1件	4件	KT-140050-VE			
73	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	<b>NKさび安定化防錆工法</b> 素地調整を3種ケレンとし、除去仕切れない錆に対して安定化処理を行い、耐候性と電気絶縁性に優れた無機系塗料を使用することで耐久性に優れた塗装システムとした。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	3件	27件	SK-100009-VR			
74	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	<b>支承の若返り工法</b> 本技術は、既設鋼製支承に金属溶射することより長期間防食し、同時に潤滑性防錆剤を注入する技術である。従来は、重防食塗装(Rc-1塗装系)で対応してきた。本技術の活用により、鋼製支承の耐久性向上、およびライフサイクルコストの縮減が期待できる。【掲載期間終了】	■					○	△	○	○	○	34件	91件	HR-100013-VE			
75	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	<b>超小型ゴム支承装置(UCB)</b> 本技術は、支承の高さを低く、かつ、部品数を削減したゴム支承である。従来は、積層ゴム支承で対応していた。本技術の活用により、構造の簡素化と経済性の向上が期待できる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	4件	7件	KK-100022-VE			
76	措置 (新工法・ 新材料)	排水装置	<b>トータク簡易排水装置</b> 本技術は橋梁遊間部 簡易排水工法である。従来は伸縮装置非排水工(弾性シール材充てん工法)であった。本技術の活用により、漏水した雨水を充てん材で止水せず、集排水するよう変えたことで、橋の伸縮・振動の影響を受けなくなり、製品の耐久性が向上する。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○		7件	KT-100033-VE			